

科目名称	障害者福祉論
授業コード	BL259
英語名称	
学期	2024年度前期
単位	2.0
担当教員	浅沼 太郎, 阿部 正太
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	<p>障害と「障害者」を生み出す現代社会のメカニズムとその実態、障害者の基本理念、法制、政策、サービスなどの諸体系を学ぶ。</p> <p>「障害」という言葉が意味する内容を現代社会において問い直す。だれが障害者であり高齢者であるかは、その社会が決定している。まず、障害と「障害者」を生み出す現代社会のメカニズムとその実態を学ぶ。つぎに、障害への具体的対応を、理念、政策、法制度、サービスなどの諸体系から把握する。さらに、諸外国の状況を学ぶことで、日本の障害者福祉を相対的に評価し、人権を中核においた今後の障害者福祉のあり方を考える力を養うことを目的とする。</p>
科目に関連する実務経験と授業への活用	障害福祉サービス事務所等での実務経験をもとに、ソーシャルワーク実践では具体的に何に焦点をあてて、どのような課題があるのか、事例を提示しながら学生の理解が深まるように講義を行う。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.障害者福祉の基本理念を理解する 2.障害者に関する法と制度を理解し、ソーシャルワーク実践のあり方を検討できる 3.カリキュラム・ポリシーに掲げる「多様な文化社会的背景をもつ人を理解し、福祉的課題を考える」「福祉専門職等と連携しながら住民の生活支援の実際を学ぶ」「社会福祉士、精神保健福祉士として必要な知識や技術」を修得する。
計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 障害概念と特性：国際生活機能分類（ICIDHからICF）の構造、障害者の法的定義 2 障害者の生活実態と取り巻く社会環境：生活実態と社会環境の課題 3 障害者の生活実態と取り巻く社会環境：コンフリクト、障害者虐待、親亡き後等の課題 4 障害者福祉の歴史：近代社会と「障害」、人権概念の創出と障害者の発祥のメカニズム 5 障害者福祉の歴史：優生政策と福祉国家 6 障害者福祉の歴史：隔離と収容の系譜、ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン 7 障害者福祉の歴史：障害者権利条約と障害者基本法、障害者差別解消法 8 障害者に対する法制度：障害者総合支援法、児童福祉法 9 障害者に対する法制度：身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法、発達障害者支援法 10 障害者に対する法制度：障害者雇用促進法、障害者虐待防止法、バリアフリー法、その他法制度の解説と課題の理解 11 障害者の生活実態と取り巻く社会環境：各ライフステージで直面する障壁【阿部】 12 障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割：関連機関の役割 13 障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割：専門職の役割 14 障害領域における社会福祉士と精神保健福祉士の役割：役割機能と実際 15 障害者と家族等に対する支援の実際：地域・就労・居住支援、生活支援の実際 <p>1～10、12～15回を浅沼が担当し、11回目を阿部が担当する。</p>
授業の進め方	<p>講義を中心にして進める</p> <p>教科書を中心とした講義に加え、適宜資料を配布する</p> <p>基本的に毎回、授業後に課題を設定する。提出された内容をもとに、次回の授業で解説を行うなど、フィードバックを重視して授業を進める</p>

能動的な学びの実施	予習として事前学習の課題を提示し、授業中に解説を行う 事後の課題については、次回の授業でフィードバックを行う 部分的にグループディスカッションを取り入れ、理解を深める時間をもつ
授業時間外の学修	予習：テキストの該当部分を読むなど、事前学習の内容を提示する。（各回3時間以上） 復習：授業後の課題に取り組むこと。必要に応じて、関連の課題を調べ、考察をまとめる（各回3時間以上）
教科書・参考書	（教科書） 福祉臨床シリーズ編集委員会編『障害者福祉（新・社会福祉士シリーズ14）』弘文堂、2021 （参考書） ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法2024』
成績評価方法と基準	授業後の課題（60%）、中間まとめ（10%）、期末試験（30%）
課題等に対するフィードバック	授業中・授業後の課題について、適宜解説を行う
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	本科目は社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士の指定科目である。国家試験の受験を希望する者には、資格取得に向けた学習姿勢の確立を期待する。 教科書を購入すること。 なお資格取得にこだわらず、現代社会のあり方と人権擁護に関心のある学生の履修を広く歓迎する。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	Zoomによるオンライン（時間割の時間帯）で実施する。CampusSquareで資料配付を行う他、Web上の情報を共有しながら講義を進める。なおZoomで出席する際は、常に画面をオンにしておくこと 変更なし、WebClassで課題提示・回収を行う